

# 2024年販売開始予定 北海道向け牧草新品種のご紹介

研究開発本部 北海道研究農場 牧草・飼料作物研究 I グループ 横山 寛

## 1. フェストロリウム ノースフェスト※1

フェストロリウムという草種をご存じでしょうか？ペレニアルライグラス（以下PR）などのライグラス類とメドウフェスク（以下MF）などのフェスク類との属間交雑種のことを言います。ライグラス類の持つ優れた飼料品質とフェスク類の優れた環境適応性を併せ持つ新しいイネ科草種として期待されています。そのフェストロリウムで、北海道向けに初めて国内育成されたのが新品種ノースフェストです。本品種は農研機構北海道農業研究センター、道総研酪農試験場、雪印種苗株式会社の三者共同で育成しました。

2014～2016年に、道内各地において地域適応性検定試験を実施し、優れた能力が認められたことから、2017年に北海道優良品種に認定され、2024年から弊社より販売が開始となります。

### 1) 草地への追播で植生改善

ノースフェストは播種後の初期生育が優れるため、植生の悪化した既存草地へ追播した場合でも定着しやすいことを確認しています。**写真1**はリードカナリーグラスやケンタッキーブルーグラスなどが優占している草地に対して、2021年9月2日に作溝播種機（ブレドオーバーシーダー）を用いてノースフェストを追播した草地の翌年秋の定着状況の様子です。リードカナリーグラスの群落の中にノースフェストの個体が定着していることが確認できました。追播実施から約2年が経過し、被度は全体の2割程度まで拡大してきています。ノースフェストを追播することで、草地更新よりも省力・低コストで草地の生産性、栄養価の改善を図ることが可能となります。



写真1、リードカナリーグラスの群落中に定着したノースフェスト  
(2022年10月20日、紋別郡興部町)

### 2) 道東地域での越冬性が優れる

ノースフェストは、約半分がMF由来の遺伝子であるため、PRよりも越冬性が優れます。**写真2**は河西郡芽室町での試験4年目の萌芽状況の様子です。左側のノースフェストの萌芽は隣のPR区よりも明らかに良好です。道東地域においては、PRよりも冬枯れリスクが低く、安定栽培が可能です。

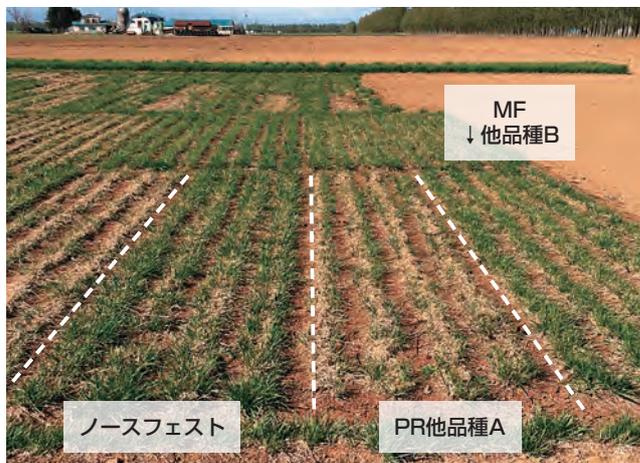


写真2、播種4年目の萌芽の様子  
(2017年5月10日、弊社芽室試験地：河西郡芽室町)

### 3) 耐湿性が優れる

ノースフェストは耐湿性が優れます。こちらも不良環境耐性が優れるMFに由来する特性です。写真3はオーチャードグラス（バッカス<sup>※1</sup>）16kg/ha、フェストロリウム（ノースフェスト）4kg/ha、アルファルファ（ケレス<sup>※1</sup>）3kg/ha、シロクロバ（品種ルナメイ）0.5kg/haを2020年9月8日に播種した草地の11月18日の様子です。この草地は排水性が不良で、降雨により滞水した部分（写真手前側）にはオーチャードグラスは定着できませんでしたが、ノースフェストは定着できました。この草地は更新前、リードカナリーグラスやメドウフォックステイル、ハルガヤなどが多く、実生由来のそれらイネ科雑草の個体の発生が見受けられますが、隣に設置した対照区（上記播種設計のノースフェストをMFに置き換えた区）と比較すると、ノースフェスト区ではそれらイネ科雑草の繁茂は抑制されています。これはノースフェストの生育が旺盛であることが要因であると考えています。



写真3、播種年秋の様子  
(2020年11月18日、江別市)

滞水部分に定着したのは全てノースフェスト

## 2. アルファルファ 早生品種 カール

### 1) 生育が穏やかでチモシー中生品種との混播に適する

近年、チモシー中生品種の需要が増加しています。

チモシー中生品種とアルファルファを混播する場合、競合力の点からアルテミス（品種SBT0308<sup>※1</sup>）とアルファルファ ケレスを推奨してきました。この度ご紹介するアルファルファ早生品種カールは、生育が穏やかで年2回刈り利用にも適するアルファルファとして、2022年に北海道優良品種に認定されました。これまでアルファルファとの混播に推奨してこなかったチモシー中生のヘリオス（品種SBT0310<sup>※1</sup>）との混播利用、従来のチモシーとアルファルファの混播ではアルファルファが旺盛に生育しすぎて優占してしまう圃場などでの利用に適する新品种です。写真4は6月28日に1番草を刈取った後の再生の様子です。品種カールは15cm程度までしか再生していませんが、そのほかの品種は30cm程度まで伸びており、生育の旺盛さが大きく異なります。



写真4、2番草再生の様子  
(2016年7月14日、弊社北海道研究農場（夕張郡長沼町）)

### 2) 黄花を含み、耐病性に優れる

品種カールの花色は黄色が多く、一般的なアルファルファで見られる紫色の花は30~40%程度です。これも北海道内で利用されてきたアルファルファの従来品種にはない特徴です。また、そばかす病やバーティシリウム萎凋病抵抗性にも優れます。

以上、2024年より販売開始予定の2品種の特性の一部をご紹介しました。今後の草地更新や追播を検討される際の参考にしていただければ幸いです。弊社は今後も自給飼料生産に貢献できる品種を提供して参りますので、今後ともよろしくお願ひします。

※1 **PVP** 海外持出禁止（農林水産大臣公示有） 北海道優良品種

※2 農林水産省品種登録出願中 海外持出禁止（農林水産大臣公示有） 北海道優良品種